

院長コラム

100人の笑顔と未来への楽しみ

立春とは名ばかりで、まだ寒さの厳しい日が続いています。

去る1月15日、当診療所が新しく手掛けるコミュニティスペース「茶屋町ハレノヒ」の上棟式を行いました。今では珍しくなった「餅まき」を企画したものの、当日を迎えるまでは「本当に人は集まってくれるだろうか」と、不安でいっぱいでした。

しかし、棟の上に立った瞬間、その不安は驚きと感動に変わりました。

そこには、予想をはるかに超える100人以上の地域の皆さまの姿があったのです。

「懐かしいなあ。昔はよくあったんじゃけどな」と笑うお年寄り。

お餅やお菓子を追いかけ、「とれたー!」「初めて見た!楽しい!」と歓声を上げる子どもたち。世代を超えてみんなが同じ方向を見上げ、笑い合っている光景に、胸が熱くなりました。

そして何より嬉しかったのは、帰り際に多くの方が「どんな建物ができるか楽しみじゃな」「完成を待っとるよ」と声をかけてくださったことです。

私が目指していたのは、医療や介護が必要な時だけでなく、元気な時から地域の人たちが自然と集まれる場所。皆さまからの期待の言葉を励みに、「茶屋町ハレノヒ」が良い場所になるよう、完成に向けて準備を進めてまいります。

寒い中、足を運んでくださった皆さま、本当にありがとうございました。



茶屋町ハレノヒ

屋根と柱が組み上がり、建物の全体像が見えてきました!

柱の間隔から、「このあたりが〇〇の部屋だな」と間取りも分かるように。

木の香りが漂う現場で、完成後の賑わいを想像しながら工事を見守っています。



お知らせ 月1回の保険証確認について

マイナ保険証の利用を含め、月に1回の保険証確認をお願いしております。
マイナ保険証をお持ちでない方は、資格確認書をご提示ください。
正確な保険確認のため、ご理解をお願いいたします。



暮らしシェア帖

寒い季節は、喉の渇きを感じにくくなりますが、暖房などで知らないうちに水分不足になりがちです。

お茶や白湯、スープなど、あたたかい飲み物を、無理のないタイミングでとってみてください。「早めのちょっと一口」が、体をいたわるやさしい習慣になります。



わがや自慢

茶屋町在宅診療所のきなこちゃん 4歳♀

「永遠の子猫」

ちっちゃいけど、気が強い女の子。



このコーナーで我が家の自慢を募集中。
ペット、趣味、景色など何でも自慢して下さい。
訪問の際に診療アシスタントに気軽にお声かけ下さい。

スタッフつれづれ

診療アシスタント(PA) 梶山です。

入職して半年が経ち、周囲の方に支えられて少しずつ在宅診療の業務全体の流れが分かってきました。在宅診療はチーム医療で関連施設との連携の重要性を実感しています。診療アシスタント業務での気づきを大切に、患者様、ご家族様の心に寄り添えるよう、丁寧な対応を心がけ、日々精進してまいりたいと思います。

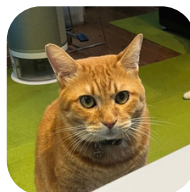
趣味は韓国ドラマを見ることです



編集後記

暦の上では春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いています。

「いつもの暮らし」を大切に、暖かくしてお過ごしください。



インスタに出演中。
チェックしてね！



@TORA9_9CHAYAMACHI

茶屋町在宅診療所

〒710-1101

倉敷市茶屋町360番地12

TEL：086-429-0003

FAX：086-429-1133